

## 第3章

### 那覇市が進める母子保健の取り組み

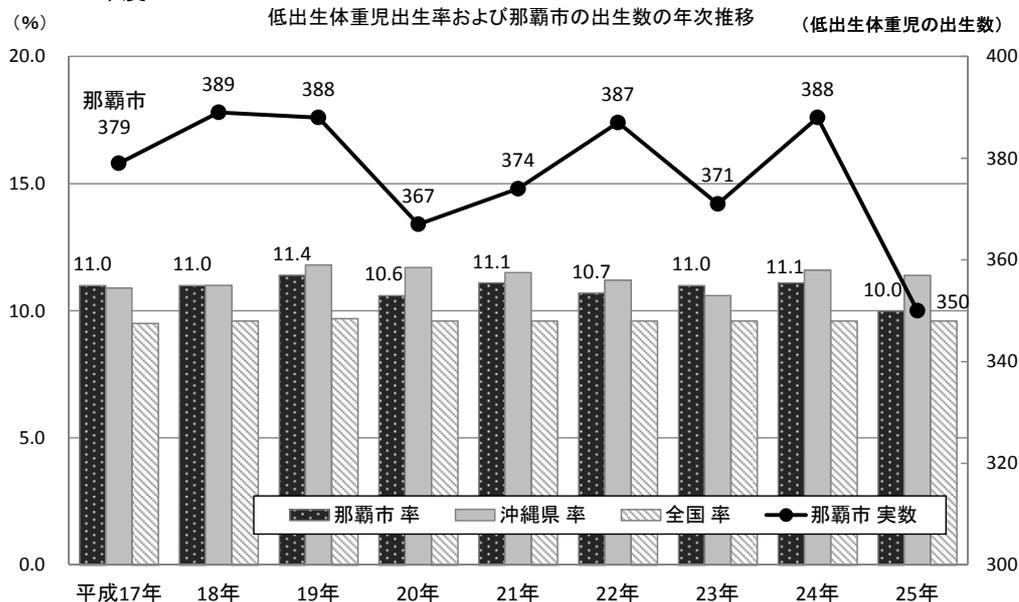
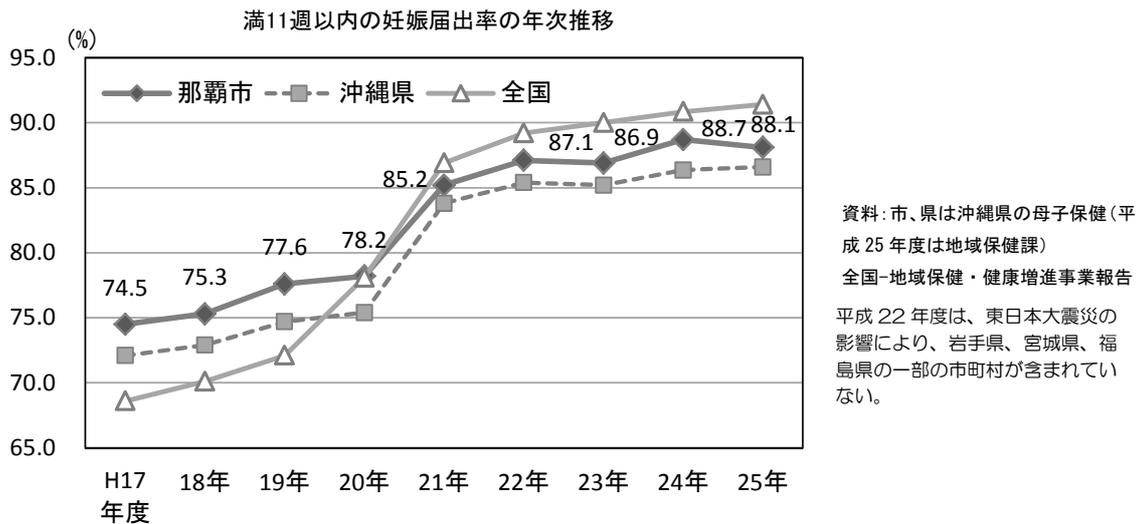
# 第3章 那覇市が進める母子保健の取り組み

## 基本目標1 安心、安全な妊娠・出産・育児ができる

具体的目標①安心・安全な出産のために、妊娠中の健康管理ができる

### ■現状と課題

妊娠届出について、妊娠11週以内の届け出は年々増えているものの、11週以降の届け出も1割ほどあることから、母体や胎児の健康管理のためにも早期の届け出の必要性について呼びかける必要があります。また、低出生体重児（2,500g未満）の割合が全国平均よりも高く、その要因とされる妊婦の喫煙もみられることから、適切な健康管理が行えるよう、妊婦健診の受診勧奨を行い、産科医療機関等と連携しながら保健指導や栄養指導を推進する必要があります。妊娠、出産に対する相談を行い、妊婦や保護者等の不安軽減に努める必要があります。



資料：人口動態統計

那覇市

妊娠中の 妊婦の喫煙率	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	7.0%	6.8%	5.3%	4.6%	4.1%	4.6%

資料：乳幼児健康診査報告書（沖縄県小児保健協会）

## ■ 目標達成に向けた取り組み

### （１）市民に期待する自らの取り組み

- ①妊娠に気付いたら、早め（妊娠 11 週以内）に妊娠を届け出、親子健康手帳をもらう
- ②親子健康手帳の内容をひと通り読み、活用する
- ③妊婦とおなかの赤ちゃんの健康管理のため、定期的に妊婦健診を受ける
- ④喫煙（受動喫煙含む）が母体、胎児に及ぼす影響を理解し、たばこを吸わない
- ⑤バランスのとれた食事を心がけ、適正体重を維持する
- ⑥妊婦の時期から歯科健診を受け胎児に悪影響を及ぼす歯周病を予防するとともに、生まれてくる子どものむし歯予防に努める

### （２）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子健康手帳の早期取得の促進</li> <li>・妊婦の健康管理に対する意識づくりの推進（各種相談の実施や情報提供）</li> <li>・妊婦健診有所見者への指導・支援体制の整備</li> <li>・妊産婦の禁煙対策の充実（産婦人科、禁煙外来のある医療機関）</li> <li>・妊産婦栄養相談事業の活用</li> <li>・切迫早産・低出生体重児の出生予防対策の充実</li> <li>・母親学級等での口腔衛生の指導の充実</li> </ul>
歯科医院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健診時の口腔衛生指導</li> </ul>
南部地区歯科 医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健診に対する会員への指導教育</li> </ul>
県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関等からの依頼による出前栄養講座等の開催</li> <li>・適正体重維持の周知</li> <li>・低出生体重児の出生予防のための妊婦の栄養状態の改善、普及啓発に向けた取り組み内容の検討</li> <li>・妊産婦、高校生、大学生に対する「健康づくり協力店」の周知</li> </ul>
市食生活改善 推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での料理教室やイベント等を活用した食の関心を高めるための啓発活動の推進</li> <li>・食生活展等による望ましい食習慣、食の大切さを普及啓発</li> </ul>

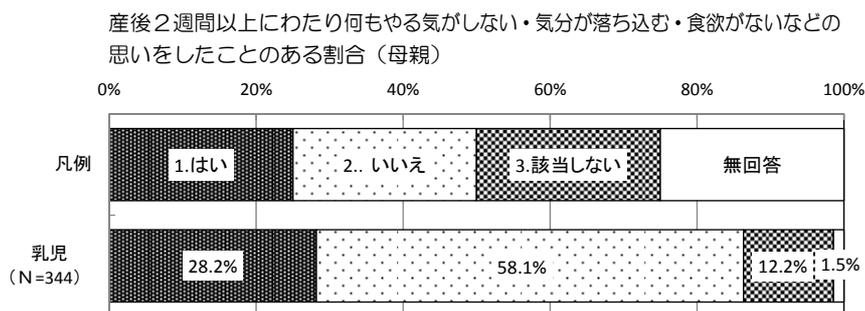
### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦の禁煙対策の充実（在宅助産師の妊産婦・新生児訪問における禁煙指導、外部講師の活用、集団教室、視覚的教材の活用など）</li> <li>・早期の妊娠届出、妊婦健診費用助成の周知徹底（妊娠検査薬販売のある薬局へのポスター掲示など）</li> <li>・親子健康手帳交付時から支援を必要とする妊婦の把握体制の整備、支援の充実</li> <li>・産婦人科医療機関連絡会を活用した医療機関との連携強化</li> <li>・妊娠・出産に関する相談窓口の周知</li> <li>・親子健康手帳発行窓口での妊娠出産に関する配布資料・内容の充実</li> <li>・栄養に関する正しい知識の普及・啓発、事業の紹介（妊産婦栄養相談など健康増進課と連携）</li> <li>・妊婦健診有所見者への支援体制の整備（医療機関との連携）</li> </ul>
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期における歯科健診への受診勧奨の継続、妊婦の口腔保健への意識向上のための普及啓発</li> <li>・歯周病と低体重児出生の関連性についての普及啓発</li> <li>・禁煙外来や禁煙治療をしている医療機関に関する情報提供の充実</li> <li>・妊産婦栄養相談事業の周知</li> <li>・親子健康手帳発行窓口での食事指導や妊産婦に対しての栄養相談の実施</li> </ul>

#### 具体的目標②産後のこころとからだの健康を意識し、行動できる

##### ■ 現状と課題

産後うつ病の早期発見と予防について、親子健康手帳交付時には、マタニティブルーや産後うつ病を周知し、医療機関からの支援依頼等を受け、個別の産婦支援の取り組みを行っています。しかしながら、「産むかどうか迷った」母親が4.1%（135名）、「困った」が17名（平成25年度 親子健康手帳交付アンケート）、「産後2週間以上にわたり何もやる気がしない、気分が落ち込む、食欲がない、眠れない等の思いをしたことがある」母親が28.2%（平成26年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査）となっていることから、産後のメンタルヘルスケアや相談体制の構築が求められます。また、適切な医療や支援へつなげるためにも、産婦人科、精神科等との連携が求められます。



資料：平成26年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査

■ 目標達成に向けた取り組み

(1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①自身のからだの状態を知り、望ましい生活習慣を心がける
- ②家族は産後の体調の変化について正しい知識をもつ
- ③こころとからだの状態に応じて、医療機関を受診する
- ④産後間もない母親のこころとからだの不調に気づいたら声をかけ、サポートを行う

(2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の育児力、愛着形成等の確認による育児支援の充実</li> <li>・産後うつ病の早期発見による適切な対応</li> <li>・産褥婦の体調管理体制の充実</li> <li>・褥婦及び家族の禁煙指導の充実</li> </ul>
沖縄県健康長寿課 (沖縄県女性健康支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が思春期から妊娠、出産、更年期に至るまでに、そのライフステージの中で抱える心身の健康に関する一般的な相談対応</li> </ul>

(3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦・新生児訪問の充実（質問票の活用、初産婦への訪問、妊娠期からの利用など）</li> <li>・地区保健師の訪問相談支援の充実、支援方法の検討（質問票の活用による早期発見など）</li> <li>・マタニティブルーや産後うつといったメンタルの状態変化について正しい知識の普及啓発</li> <li>・精神科や心療内科に関する相談先の情報提供、普及啓発（相談しやすいような案内、説明の工夫）</li> <li>・精神疾患の既往、産後うつ症状既往のある方への早期支援の充実</li> <li>・産後うつ病の早期発見、関係機関との連携充実</li> </ul>



## 具体的目標③新生児期の基本的な育児手技を理解し、子育てについてイメージできる

### ■ 現状と課題

子育て支援センター等では、妊婦を対象に育児イメージを持ってもらえるようプレママとしての受け入れも進んでおり、各機関が連携を意識した取り組みを推進しています。育児について、妊産婦や乳幼児の保護者が育児に関する不安を解消できるよう、基本的な育児技術を学べる産後ケア、相談体制の充実が求められています。また、妊娠前、妊娠期から子育てを学べる場、教育機会を増やす必要があります。

### ■ 目標達成に向けた取り組み

#### (1) 市民に期待する自らの取り組み

- ① 出産前から育児のイメージがもてるよう、先輩ママや家族、子育て支援センターや病院での妊婦教室等地域資源を活用する
- ② 育児に関する具体的な知識を積極的に得る
- ③ 子育てについて一人で悩まずに誰かに相談する

#### (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	・ 母親の育児力、愛着形成等の確認による育児支援の充実（母乳同室の活用等）

#### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	・ 妊産婦・新生児訪問の活用（対象の拡充） ・ 妊娠期から出産、子育てのイメージができるよう、心構えや具体的な対応を伝える教材、パンフレットの充実 ・ 妊婦教室や両親学級の活用、医療機関との連携強化
こどもみらい課	・ 妊婦の悩み相談や実際のこどもに関わる体験をする『妊婦さんいらっしやい』（プレママ）の周知 ・ 地域の子育て拠点となる子育て支援センターの周知のため、市役所本庁での出前支援の定着

## 具体的目標④よりよい妊娠・出産に向けた健康づくり対策を行う

### ■現状と課題

不妊相談・情報提供について、一般的な不妊等への相談に対応しながら、必要に応じて、沖縄県の不妊専門相談センターを紹介したり、窓口へのチラシの設置等による周知を行ってきました。平成 25 年度より那覇市での対応となった「不妊に悩む方への特定治療支援事業」の申請窓口においては、保健師による相談対応を行っています。引き続き、不妊に悩む方の相談窓口、助成事業の周知が求められています。

また、生涯を通じた女性の健康支援事業（健康教育）では、不妊や不育症に対応するために、女性の健康と妊娠の時期等に関連した講話を実施しており、ライフステージに応じた身体の変化についての知識の普及に努める必要があります。

参考：生涯を通じた女性の健康づくり教育件数（平成 25 年度）：5 件（対象：高校生、子育て世代）

特定不妊治療費 助成事案件数	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	266	261	343	371	311

資料：地域保健課

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （１）市民に期待する自らの取り組み

- ①ライフステージに応じたからだの変化を知り、妊娠に向けての知識を積極的に得る
- ②身近な人と、妊娠・出産・子育てについて話し合う機会をもつ
- ③妊娠に悩んだときに、抱え込まず、専門機関に相談する

#### （２）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
歯科医院	・歯周病と妊娠、親の口腔内環境が子に及ぼす影響に関わる正しい知識の普及啓発
南部地区歯科医師会	・親の口腔内環境が子に及ぼす影響など正しい知識の普及啓発について会員への指導教育
沖縄県健康長寿課 （沖縄県女性健康支援センター ／沖縄県不妊専門相談センター）	・身体的、精神的な悩みを有する女性に対する相談指導 ・妊娠、避妊についての確な判断を行うことができるよう相談を望む方、その必要性のある方への相談対応 ・不妊や妊娠に関する正しい知識の普及啓発 ・不妊治療に関する情報提供 ・女性の健康に関する学習会の開催

### (3) 那覇市の取り組み

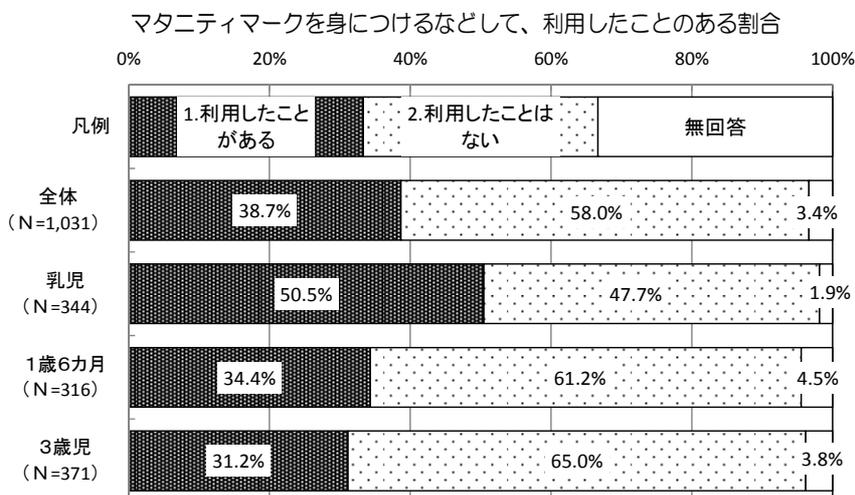
所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠前の若い世代に対する喫煙ややせの影響、性感染症予防、避妊などについて、高校・大学などとの連携による普及啓発事業の充実</li> <li>・家族計画（年齢と身体の変化、妊娠しやすい時期、妊娠出産の費用など）の指導、望まない妊娠への対策、相談体制の充実</li> <li>・特定不妊治療の医療費助成についての周知</li> <li>・不妊・不育の知識について普及啓発</li> </ul>
平和交流・男女参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女雇用機会均等法における母性健康管理の措置などを周知することで、妊婦健診の受診や体調が不安定なときに、妊婦が安心して休める職場環境の整備充実</li> </ul>

#### 具体目標⑤地域がこどもの誕生を喜び、子育て世代に関心をもてる

##### ■現状と課題

マタニティマークについて、全ての妊婦にマタニティマークのステッカーを配付し、利用の促進を図っていますが、平成 26 年度の乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査結果をみると、妊娠中にマタニティマークを活用したことがある母親の割合は 38.7%と半数に満たない状況にあるため、引き続き、マタニティマークの周知と利用促進に努める必要があります。

核家族の増加や地域のつながりの希薄化等から、保護者が地域から育児方法を学ぶ機会が減少しています。地域の子育て力を向上するとともに、妊娠期からの居場所づくりや地域での子育てを支える母子保健ボランティアの育成、確保が求められています。また、働きながら妊娠、出産、育児が安心して出来る環境づくり（産業保健と地域保健との連携）が求められています。



資料：平成 26 年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査

■ 目標達成に向けた取り組み

(1) 市民に期待する自らの取り組み

- ① 普段から近所の人との付き合いを心がける
- ② マタニティマークを活用する
- ③ 妊婦やマタニティマークを見かけたら、思いやりのこころを持ち、妊婦に優しい環境づくりに努める
- ④ 妊婦の受動喫煙を防ぎ、喫煙マナーを守る



(2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
市民生委員児童委員連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 代妊婦を把握したときは適切な支援につながるよう、相談対応の充実と関係機関との連携強化</li> <li>・ 妊娠、出産、育児に悩む方からの相談をはじめ、地域から孤立しないよう、関係機関等と連携・協力した活動の推進</li> <li>・ 一部地域における子育てサロンの実施</li> </ul>
市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 代妊婦を把握したときは適切な支援につながるよう、相談対応の充実と関係機関との連携強化</li> <li>・ 地域活動の中で、子育て中の母親の話し相手になり、妊娠・出産・育児に関する相談対応と、相談できる場所や那覇市の母子保健に関する情報の提供</li> <li>・ 子育て中の親に声をかけ、仲間づくりができる子育て支援センターや子育てサークルなどを紹介</li> </ul>
市自治会長会連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会役員会を通じたマタニティマークの周知</li> </ul>

(3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マタニティマーク、妊娠の届出、妊婦健康診査費用助成について、ホームページなどによる情報提供</li> <li>・ 職域への情報発信、連携体制の検討</li> <li>・ 母子保健推進員の育成、活動の充実</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子の交流の場として、地域の保育所（園）や子育て支援センターの利用促進</li> </ul>
平和交流・男女参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページやなは女性センターだよりなどの情報媒体を活用した、マタニティマークの周知</li> </ul>

## 基本目標 1 の指標

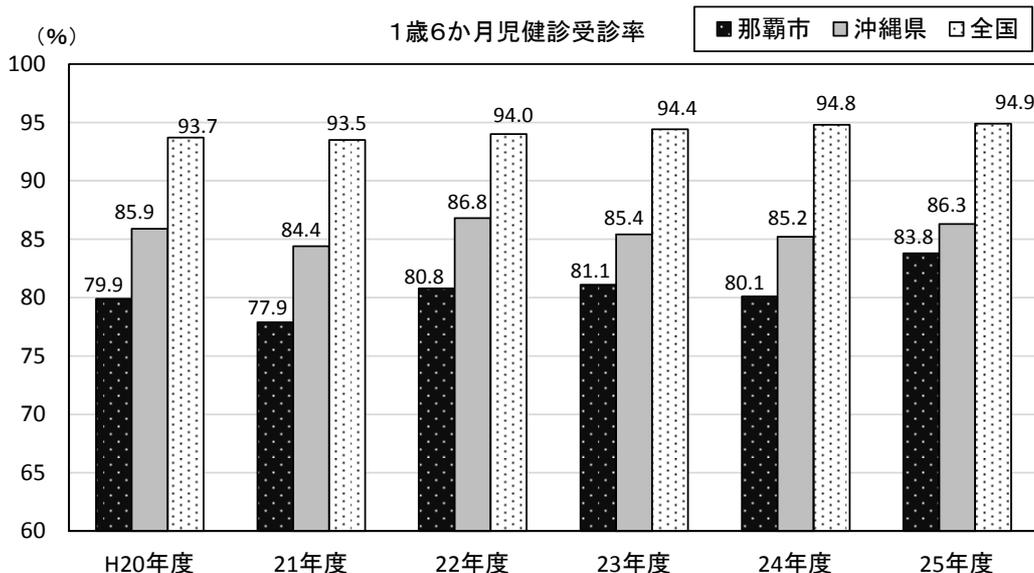
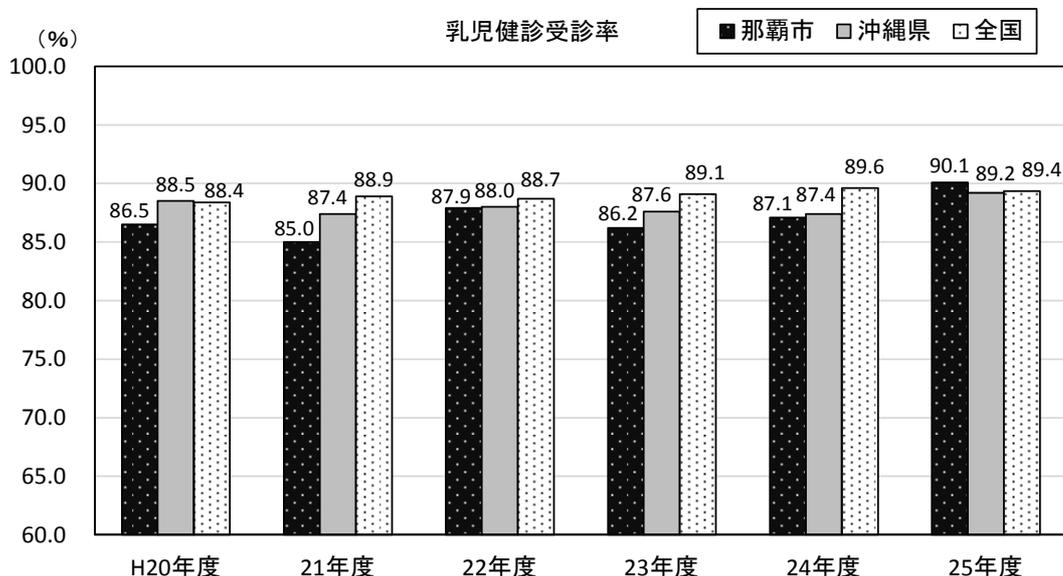
指標(★:重点指標)		策定時	中間年 (5年後)	最終年 目標	把握方法
【健康水準の指標】	妊娠・出産について満足しているものの割合	95.1% (平成 26 年度)	増加	増加	乳幼児健診(健やか親子なは)アンケート
	★全出生数中の低出生体重児の割合	10.0% (平成 25 年)	減少	減少	人口動態統計
【健康行動の指標】	★妊娠中の妊婦の喫煙率	4.6% (平成 25 年度)	0.0%	0.0%	乳幼児健康診査報告書 (沖縄県小児保健協会)
	マタニティマークを妊娠中に使用したことがある母親の割合	乳児:50.5% (平成 26 年度)	増加	増加	乳幼児健診(健やか親子なは)アンケート
【参考とする指標】	周産期死亡率(出産千対)	5.1 (平成 25 年)	—	—	人口動態統計
	新生児死亡率、乳児(1 歳未満)死亡率(出生千対)	新生児:0.6 乳児:1.1 (平成 25 年)	—	—	人口動態統計
	妊娠 11 週以下での妊娠の届出率	88.1% (平成 25 年度)	—	—	事業集計→地域保健報告書
	妊娠中の夫の喫煙率	乳児:41.3% (平成 25 年度)	—	—	乳幼児健康診査報告書 (沖縄県小児保健協会)
	妊娠中の妊婦の飲酒率	平成 27 年度から乳 児健診の問診追加項 目とし集計	—	—	乳幼児健康診査報告書 (沖縄県小児保健協会)
	質問票(EPDS等)を活用する産科医療機関の数	今後調査	—	—	産科向けアンケート

## 基本目標2 乳幼児期から規則正しい生活習慣を身につけ、 親も子も健やかに成長し、笑顔で生活できる

### 具体目標①乳幼児健診の受診率が上がる

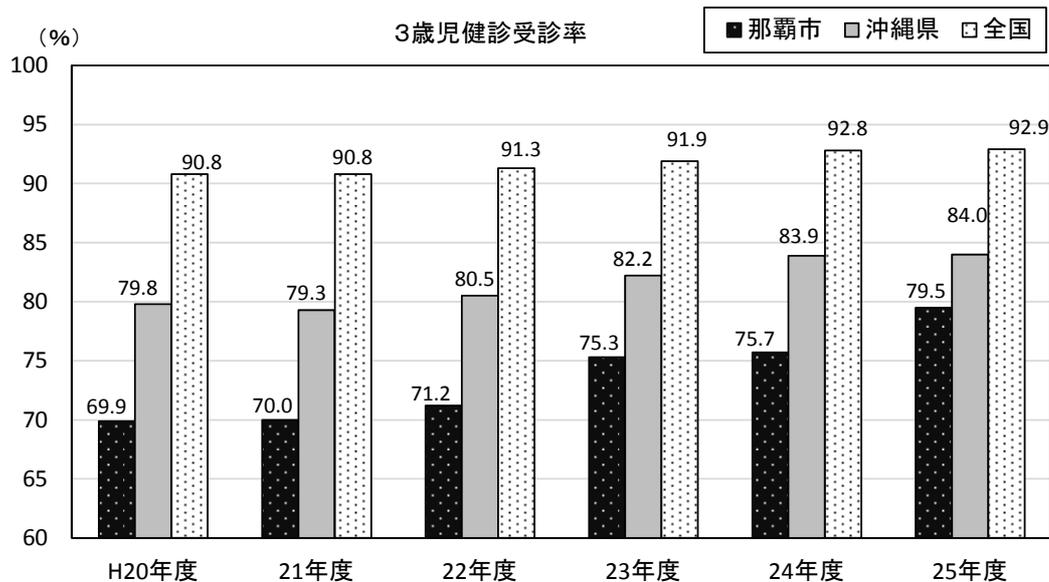
#### ■現状と課題

乳幼児健康診査の受診状況は、各健診ともに受診率は増加しており、これまでのハガキ再通知や未受診者訪問、保育施設との連携、健診会場での待ち時間の解消などの取り組みが要因と考えられます。しかしながら、年齢を重ねる毎に受診率の低下がみられ、また全国や沖縄県の受診率よりも低いことから、今後も受診率が上がるよう、保護者や保育施設等への周知徹底や未受診者対策に取り組む必要があります。



資料：那覇市、県-乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)

全国-地域保健・健康増進事業報告(全国の乳児については、3～5か月と9～12か月の受診率の平均)  
平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県、福島県の一部の市町村が含まれていない。  
受診率=(一般健康診査受診実人員/健康診査対象人員)×100



資料：那覇市、県-乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)

全国-地域保健・健康増進事業報告 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県、福島県の一部の市町村が含まれていない。

受診率＝(一般健康診査受診実人員／健康診査対象人員)×100

## ■ 目標達成に向けた取り組み

### (1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①乳幼児健診を受け、こどもの発達・発育状況を把握する
- ②かかりつけ小児科医を持つ

### (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
市母子保健推進員協議会	・乳幼児健診未受診者への訪問活動の実施

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した健診の重要性に関する周知の充実</li> <li>・健診の待ち時間対策の検討</li> <li>・配慮が必要な児の健診受診について、関係各課との連携強化</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所(園)通園児に対して、乳幼児健診の日程等を案内する保健だよりの配布</li> </ul>

## 具体的目標②親が育てにくさを感じたときに対処できる

### ■現状と課題

母子保健事業を取り組む中で、育児不安や育てにくさを感じている親とそのこどもを速やかに把握し、どのような育児不安があるのか、的確な評価と適切な保健指導、さらには福祉部門へ繋ぐなど、親子が必要とするサービスを提供していかなければなりません。育てにくさを感じる背景としていろいろな要因がありますが、一部には発達障がいなどが鯨飲となっている場合があります。しかし、こどもの障がい等に気付いていないこともあり、こどもの発育や発達過程などの情報提供に努めます。また、障がいなどの相談は増えていますが、社会的に理解されていないなど、障がいに対する市民の理解を深めるための取り組みが求められています。また、育てにくさを感じる親が気軽に相談したり、学んだり、交流できる場づくりなどが求められています。

障がい児や、慢性疾患のあるこどもについて、保育所（園）や幼稚園など関係各課や、関係機関が連携して切れ目のない支援が受けられる体制づくりが求められています。

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （１）市民に期待する自らの取り組み

- ①子育てについて一人で悩まず誰かに相談する
- ②子育てやこどもの発育・発達について学ぶ（教室等に参加するなど）

#### （２）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
県自閉症協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントメンターによる電話相談及び来所相談</li> <li>・ゆんたく会（情報交換会）の実施</li> <li>・あじさい通信の発行（講演会などの情報発信）</li> <li>・ホームページでの情報発信</li> <li>・会員に対して、ソーシャルスキルトレーニングの実施（4歳～小3対象）</li> <li>・会員に対するペアレントトレーニングの実施</li> </ul>
那覇市ファミリーサポートセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で「子育てのお手伝いをしたい方」と「援助をしてほしい方」が会員になり、子育て中の「困った」をサポートする活動を実施</li> </ul>
NPO 法人ファミリーサポート愛さん会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーサポートセンターと連携した子育て（家庭）支援（産前産後の家事支援等）</li> </ul>
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の育てにくさに対する相談に対応し、必要に応じ、専門医等を紹介</li> </ul>
市民生委員児童委員連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の親子に声をかけ合い、育児に関する相談対応</li> <li>・関係機関との連携のもと、こどもへの関わりで気になる保護者に対して、相談先を紹介</li> <li>・小学校、中学校との連携充実と学校行事への参加</li> </ul>

機関・団体名	取り組み内容
市母子保健推進員協議会	・地域活動の中で、子育て中の母親の話し相手になり、妊娠・出産・育児に関する相談対応と、相談できる場所や那覇市の母子保健に関する情報の提供

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる母子保健事業を通じ、支援の必要な親子の早期発見と適切な支援の実施</li> <li>・健診などを活用したこどもの発達に関する情報提供</li> <li>・保健師・心理師等による発達に関する相談の実施</li> <li>・教育、福祉部門との連携した療育支援</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の夏祭りや催事の際に地域住民に参加を呼びかけ、祭りなど地域行事への参加を促進</li> <li>・保育所（園）で行っている『子育て応援Day』の子育て世代等への周知と、参加を促進</li> <li>・子育て支援センターを利用しながらのクラス交流や保育所（園）行事への参加、利用の呼びかけ</li> <li>・療育センターでの発達相談、親子通園、専門職による相談・支援</li> <li>・療育センター通園児の保護者会のバックアップ</li> </ul>
障がい福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい児及びその家族に対するサポート事業の実施</li> <li>・障がい児の障害福祉サービスの充実</li> <li>・児童発達支援事業の推進</li> </ul>



具体的目標③規則正しい生活習慣を身につける（食事・睡眠）

■現状と課題

乳幼児の食に関しては、朝食の摂取や食事・おやつ時間を決めている家庭が増加しており、各健診や保健事業での食に関する知識の普及啓発、各保育施設や子育て支援センター等で行われている講話や研修会などの取り組みによるものと思われます。

睡眠についても改善が図られてきていますが、那覇市及び沖縄県は22時以降に就寝する3歳児の割合が4割強と全国的にも高くなっており、外食産業が多い沖縄県においては、夜遅くまで飲食店等で乳幼児を連れた姿も見られるなど、夜型社会の改善が求められています。特に就寝時間の改善には、保護者を含めた対策が必要であり、各健診等における普及啓発や、市PTAや学校等と連携した「早寝・早起・朝ごはん」運動などの普及が求められています。

3歳児の22時以降に就寝する児の割合 単位：%

	H16年度	H20年度	H24年度	H25年度
市	67.6	41.0	42.6	42.0
県	67.4	37.0	43.9	42.0

資料：乳幼児健康診査報告書（沖縄県小児保健協会）

■目標達成に向けた取り組み

（1）市民に期待する自らの取り組み

- ①親子で早寝・早起きの習慣をつける
- ②21時台までに寝る
- ③食事やおやつ時間を決める
- ④朝食を欠食しない

（2）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
歯科医院	・食生活リズムとむし歯に関わる正しい知識の普及啓発
南部地区歯科医師会	・デンタルフェアの実施（歯科医師会）
認可保育園など	・保護者へこどもの健康に関する情報提供
市母子保健推進員協議会	・健診会場で食の大切さの啓発（お弁当づくり）

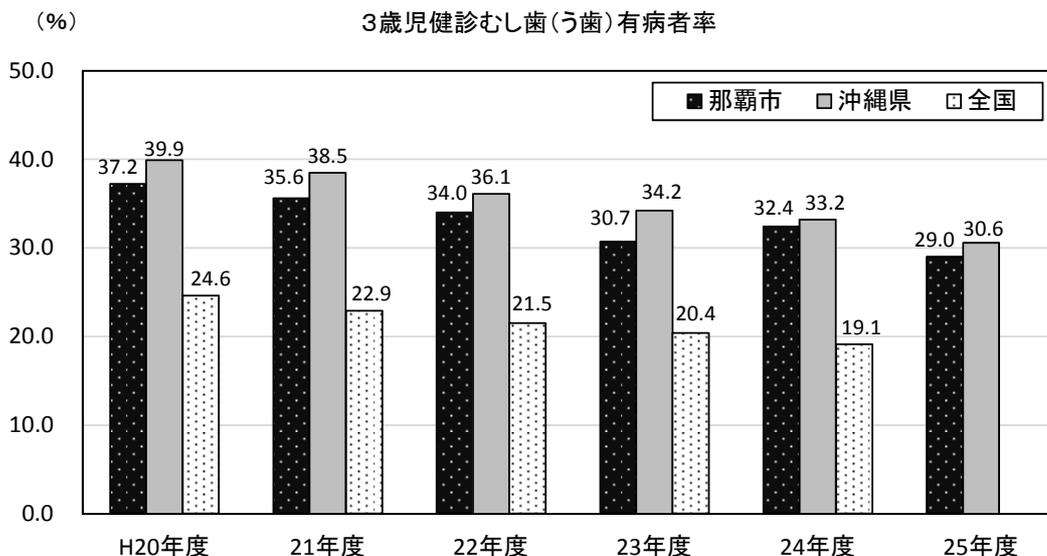
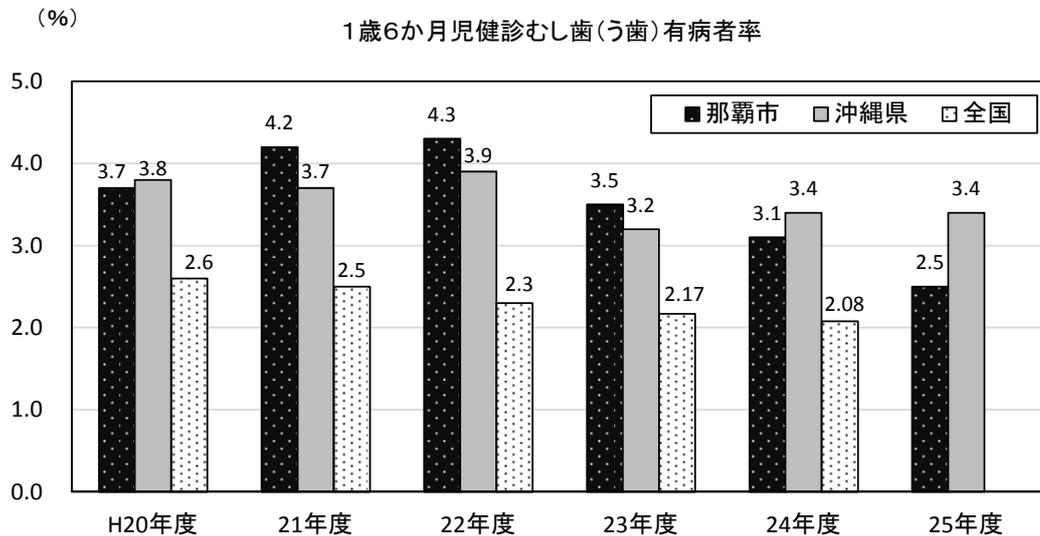
（3）那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	・健診などで生活リズムや離乳食・幼児食の大切さを周知
健康増進課	・地域保健課と連携し、離乳食実習や妊産婦栄養相談などを通して正しい食生活の普及啓発
こども政策課	・アレルギーに対しては、可能な限りの除去食にて対応 ・こどもの生活リズムに関する保護者への情報発信、育児講座を通しての啓発活動

## 具体的目標④ 3歳児のむし歯のない子が増える

### ■現状と課題

1歳6か月児、3歳児のむし歯有病者率については、ともに減少傾向にあり改善が図られています。1歳6か月児健診、3歳児健診でのフッ素塗布の導入、乳児後期健診で歯科衛生士を配置するなど、早い時期から保護者の意識づくりに取り組んできたことも要因としてあげられます。また、健診会場では、栄養士による栄養相談や、歯科医院への紹介状発行なども行っています。関係機関においては、歯科医師会主催によるデンタルフェアの実施（市民への普及啓発）などの取り組みが行われています。しかしながら、毎日仕上げみがきをしている割合をみると、1歳6か月児：66.0%、3歳児：77.6%にとどまっており、3歳児のむし歯有病者率は全国平均と比較すると依然高い状況にあります。早い時期から歯科のかかりつけ医を推奨するためにも継続した歯科保健の取り組み強化が求められています。



資料：那覇市、沖縄県-乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)  
 全国-厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課調査

■ 目標達成に向けた取り組み

(1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①かかりつけ歯科医を持ち、定期的な歯科健診を親子で受ける
- ②家族で食後・寝る前の歯みがきと仕上げみがきを習慣にする
- ③おやつの時間や内容に気をつける

(2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
歯科医院 南部地区歯科医 師会 県歯科衛生士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デンタルフェアの実施</li> <li>・歯科に関するガイド（パンフレット）を作成</li> <li>・フッ素に関する情報の発信</li> <li>・かかりつけ歯科医の活用と定期的な歯科健診による予防活動の啓発</li> </ul>

(3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医を持つことの重要性についての周知、情報発信</li> <li>・乳幼児健診や健康教育等により、むし歯対策の普及啓発</li> </ul>
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健課と連携し、乳幼児健診にて間食や食事のとり方とむし歯予防についての普及啓発</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・認可保育園における歯科検診の実施（年2回）</li> <li>・保護者向けの歯科医による講話の実施</li> </ul>



## 具体的目標⑤安心して子育てができる相談や学習の場があり、活用できる

### ■現状と課題

近年、子育てに関する相談支援の窓口が増えつつあります。また子育て情報を紹介するインターネットのサイトもたくさんあり、市でもパンフレットやチラシなどを作成しています。様々な情報が得られるようになりましたが、情報を上手く活用できなかつたり、読み手にはわかりづらい内容となっているとの声もあがっています。

また、育児に対し疲労感を持っていたり、子育てのノウハウを知らない（育てきれない）保護者や、発達過程でみられるこどもの行動などが分からない保護者もみられます。そのような中、こどもの健やかな成長が促せるよう、関係機関と連携を図り、初めて子育てを経験する親への支援や、学習の場づくりや交流拠点の利用を促進する必要があります。また、父親の積極的な子育てへの参加促進や、家庭保育の親子の孤立防止に取り組む必要があります。

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （１）市民に期待する自らの取り組み

- ①子育てについて一人で悩まず誰かに相談する
- ②子育て支援センターや子育てサークル等、親同士が交流できる場へ気軽に出かける
- ③出産前から、保育所（園）や幼稚園や子育て支援センターで保育体験をする

#### （２）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
認可保育園など	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育所（園）における、保護者同士の交流機会の創出（雰囲気づくり）</li><li>・送迎時や個人面談などでの子育てに関する相談対応や支援</li></ul>
市民生委員児童委員連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の親子に声をかけ合い、育児に関する相談対応の実施</li><li>・関係機関との連携のもと、こどもへの関わりで気になる保護者に対して、相談先を紹介</li><li>・一部地域における子育てサロンの実施</li></ul>
市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動の中で、子育て中の母親の話し相手になり、妊娠・出産・育児に関する相談対応と、相談できる場所や那覇市の母子保健に関する情報の提供</li><li>・子育て中の親に声をかけ、仲間づくりができる子育て支援センターや子育てサークルについての紹介</li></ul>

(3) 那覇市の取り組み

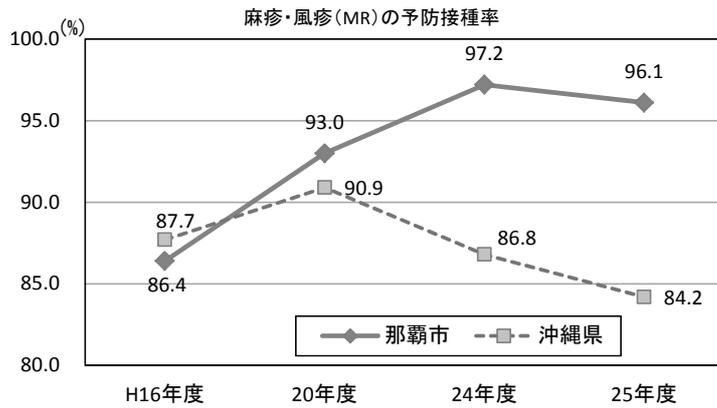
所管課名	取り組み内容
<p>こどもみらい課</p>	<p>&lt;育児相談やこどもの発達に関する相談対応&gt;</p> <p>①保育所（園）利用者への担任・所長による相談対応（相談の内容に応じて保健センターに連絡し、担当地区の保健師へ繋ぐ）</p> <p>②保育所（園）の『子育て応援Day』を利用したクラス担任保育士との関わり・保育所所長をはじめとする他職員との育児相談</p> <p>③子育て支援センターの利用による育児相談（同年齢や異年齢児との関わり、親同士の間を通じた）</p> <p>④児童館の乳幼児学級の利用促進</p> <p>⑤発達に関する相談の実施</p> <p>⑥障がい児保育にて巡回指導（相談）を実施し、保育現場、保護者の相談に対応</p> <p>⑦地域子育て支援センターの利用促進、育児に関する各種講座や相談等の実施</p> <p>⑧「児童施設訪問支援事業」による保育現場のフォロー</p> <p>⑨療育センターでの親子教室の実施と相談対応の充実</p> <p>&lt;父親も参加しやすい内容を取り入れた保育行事の実施に向けて&gt;</p> <p>①保護者会役員への父親の参加促進（父親の会など）</p> <p>②運動会での手伝いや競技に参加しやすいようなプログラムの工夫</p> <p>③父親が参加したくなる育児講座の計画</p> <p>④子育て支援センターによる『パパママ一緒に遊ぼう Day』（土曜日）の取り組み推進</p> <p>⑤普段の通園への参加促進。また、家族保育参加や運動会など父親等も参加しやすい行事の実施</p>
<p>地域保健課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師・助産師などによる育児に関する相談の実施（訪問・来所・電話相談）</li> <li>・乳幼児健診等における相談先の情報提供</li> </ul>

具体的目標⑥子どもを感染症や事故から守る（予防接種を受ける/受動喫煙から守る/事故予防ができる）

■現状と課題

1歳のうちに接種する麻疹・風疹（MR）1期の予防接種率は96.1%と増加しており、予防接種に関するこれまでの普及・啓発活動の成果であると考えられます。

しかし、就学前に接種する麻疹・風疹（MR）2期や結核（BCG）は80%台、ヒブ・小児用肺炎球菌は70%台となっているため、引き続き、麻疹・風疹・水痘などの予防接種の普及・啓発に向けた取り組みを行う必要があります。（p33 参照）



資料：那覇市（1歳～2歳未満児）、那覇市市政概要／沖縄県（1歳6か月児）、乳幼児健康診査報告書（沖縄県小児保健協会）

子育て中の父親・母親の喫煙については減少傾向にありますが、受動喫煙は、SIDS（乳幼児突然死症候群）、低体重児、呼吸器疾患、中耳炎、むし歯等子どもの健康に悪影響を与え、分煙を行ってもその後の呼気中や髪、衣服などに有害物質が付着しているという報告もあることから、完全な禁煙を勧めていく必要があります。

母親の喫煙率

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県
乳児健診	7.0	7.1	5.5	6.6	6.1	7.1	5.5	6.6	5.3	6.0	6.0	6.5
1歳6か月児健診	9.2	10.4	7.6	8.2	9.2	8.9	7.6	8.2	7.3	7.9	7.0	7.8
3歳児健診	9.0	9.7	8.3	9.4	9.0	9.7	8.3	9.4	9.4	9.6	7.8	8.9

父親の喫煙率

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	那覇市	沖縄県										
乳児健診	48.8	51.4	41.5	43.0	41.7	43.6	41.5	43.0	40.7	42.4	41.4	43.4
1歳6か月児健診	40.4	47.7	39.8	41.9	40.4	43.7	39.8	41.9	39.1	42.3	39.8	42.0
3歳児健診	40.0	42.8	38.3	42.2	40.0	42.8	38.3	42.2	38.5	42.5	37.4	40.8

資料：乳幼児健康診査報告書（沖縄県小児保健協会）

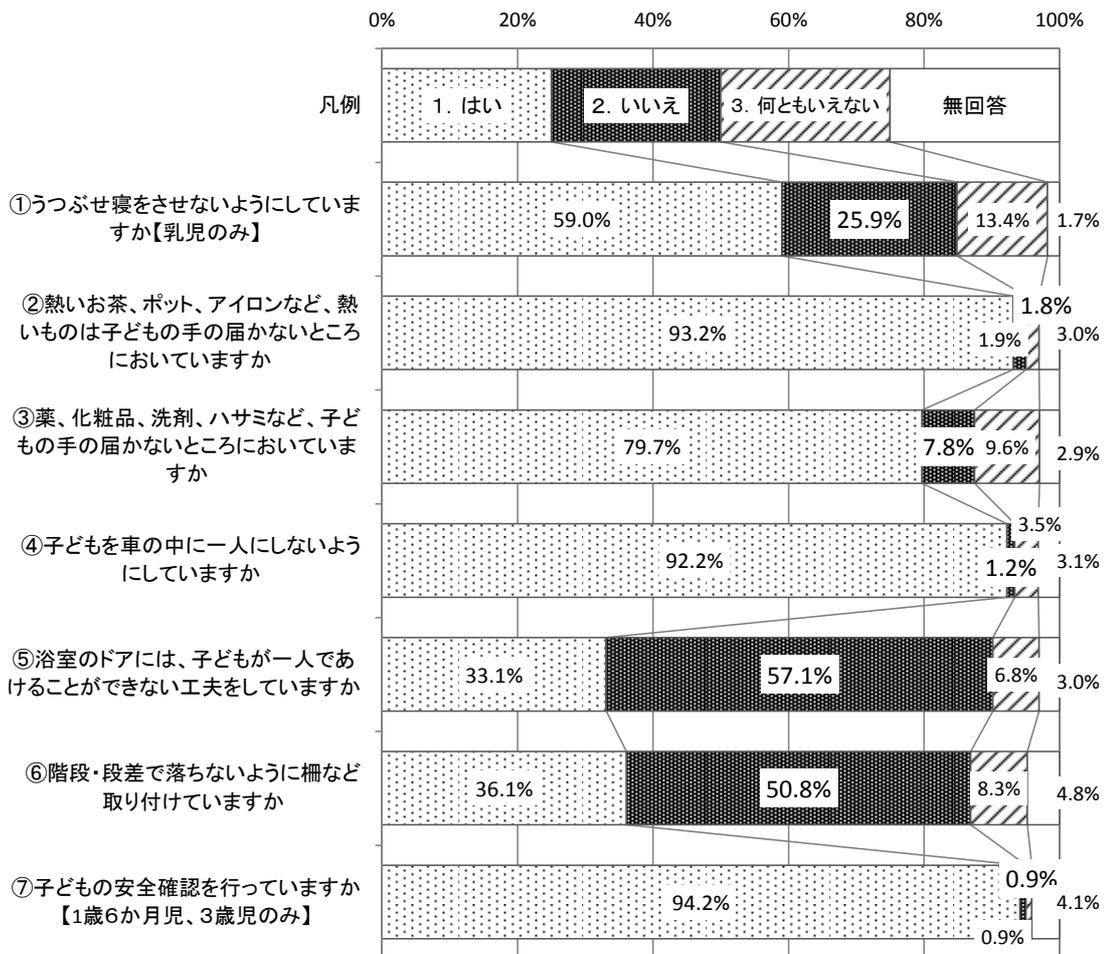
事故予防については、チャイルドシートの正しい使用の徹底を図る必要があります。また、平成26年度に実施した乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査で、うつぶせ寝をさせない、浴室のドア開閉の工夫、階段・段差への柵などの設置については、事故予防対策が十分に行われていないことから、保護者の意識を高めるため、引き続き健診会場等での効果的な広報啓発活動の推進が求められています。

車に乗る時はチャイルドシートを使用している」と答えた人の割合(年度)

	平成16年	平成20年	平成24年	平成25年
乳幼児(市)	93.1	95.3	96.0	96.6
1歳半(市)	90.9	93.6	96.2	95.7
3歳児(市)	67.1	78.4	85.8	85.2
乳幼児(県)	94.9	96.7	97.5	97.5
1歳半(県)	89.6	95.1	95.7	95.6
3歳児(県)	63.1	76.9	85.8	82.2

資料：乳幼児健康診査報告書（沖縄県小児保健協会）

<事故予防について>



資料：平成26年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査

## ■ 目標達成に向けた取り組み

### (1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①日頃から家族で事故を防ぐために注意をしよう
- ②浴室のドアをこどもが一人で開けることができない工夫をする
- ③階段・段差で落ちないように柵など取り付ける
- ④うつぶせ寝をしないようにする
- ⑤薬、化粧品、洗剤、ハサミなど、こどもの手の届かないところに置く
- ⑥熱いお茶、ポット、アイロンなど、熱いものはこどもの手の届かないところに置く
- ⑦こどもを車の中に一人にしない
- ⑧こどもが遊んでいる時など、きちんと安全を確認する
- ⑨親が予防接種の大切さを理解し、対象年齢に達したら早めに接種する
- ⑩受動喫煙がこどもに与える影響を理解し、こどもの前ではたばこを吸わない

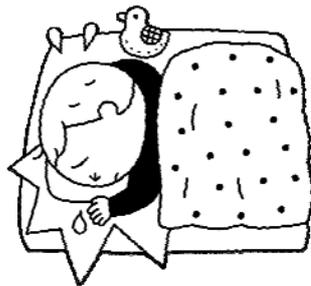
### (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
認可保育園など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への予防接種や事故予防などに関する情報提供</li> <li>・消防局と連携し、職員や保護者に対する事故予防に関する講座の実施促進</li> </ul>
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種状況の確認と接種勧奨</li> <li>・望ましい接種時期の指導の充実</li> </ul>
那覇市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の中で乳幼児の事故予防の啓発</li> <li>・健診未受診者訪問活動の中で予防接種についての啓発</li> </ul>

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体と連携した予防接種に関する情報提供、相談、接種勧奨</li> <li>・たばこの害について、親子健康手帳交付時や健診会場などでの周知、また保育所（園）や幼稚園など関係機関と連携した周知活動の推進</li> <li>・健診会場での事故予防に関する情報発信や、関係団体（消防、保育所（園）・幼稚園、学校等）と連携した事故予防に対する意識啓発</li> </ul>
健康増進課	<p>&lt; 予防接種向上の取り組み &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①医療機関や公的機関の窓口にチラシを設置する等の広報活動</li> <li>②小学校就学前の MR2 期の接種率が目標の 95% に達成するよう、対象者への個別通知の他に学校教育課と連携して、就学时健診時や入学説明会において勧奨チラシを配布</li> </ul>
こどもみらい課	<p>&lt; 予防接種・受動喫煙防止・事故予防に関する親への周知・学習の機会 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①保育所（園）や子育て支援センターによる定期的に行う育児講座での周知</li> <li>②保育所（園）の各クラス担任や他職員の関わりの中での呼びかけ</li> <li>③交通安全指導（保育所（園）行事）への保護者の参加呼びかけ</li> </ul>

所管課名	取り組み内容
	④消防局や日本赤十字社と連携し、事故防止安全講座や救急法、事故時の対処法を開催 ⑤保健だよりでの周知や事故防止などについてのポスター掲示
消防局救急課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止に関する必要な知識など救急講習会の実施</li> <li>・事故予防の取り組み啓発</li> </ul>



## 基本目標2の指標

指標(★:重点指標)		策定時	中間年 (5年後)	最終年 目標	把握方法
【健康水準の指標】	★むし歯のない3歳児の割合	69.4% (平成25年度)	75.7%	82.0%	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	乳児 : 77.3% 1歳6か月児 : 75.3% 3歳児 : 73.6% (平成26年度)	増加	増加	乳幼児健診(健やか親子なは)アンケートまたは乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
【健康行動の指標】	★乳幼児健康診査の受診率	乳児 : 90.1% 1歳6か月児 : 83.8% 3歳児 : 79.5% (平成25年度)	乳児 : 92.5% 1歳6か月 : 87.0% 3歳児 : 85.0%	乳児 : 95.0% 1歳6か月 : 90.0% 3歳児 : 90.0%	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	「車に乗る時はチャイルドシートを使用している」と答えた人の割合	乳児 : 96.6% 1歳6か月児 : 95.7% 3歳児 : 85.2% (平成25年度)	100%	100%	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	3歳児健診で21時台までに寝る子の割合	58.1% (平成25年度)	80.0%	90.0%	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	3歳時健診で「食事やおやつ時間は決まっている」と答えた人の割合	84.8% (平成25年度)	増加	増加	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	★四種混合(3カ月～7歳6カ月未満) ★麻疹・風疹(MR)1期(1歳～2歳未満) ★BCG(3カ月から6カ月未満)の予防接種の割合 ★ヒブ(2カ月～5歳未満)接種をしているものの割合 ★小児用肺炎球菌(2カ月～5歳未満)接種をしているものの割合	四種混合 : 75.8% 麻疹・風疹(MR1期) : 96.1% BCG : 83.1% ヒブ : 70.9% 小児用肺炎球菌 : 75.8% (H25年度)	増加	95.0%	那覇市市政概要
	★3歳児健診で日本脳炎2回接種を終了しているものの割合 ★1歳6か月児健診でB型肝炎3回接種しているものの割合 ★1歳6か月児健診でロタ(1価)2回接種ロタ(5価)3回接種を終了しているものの割合 ★1歳6か月児健診で水痘を1回接種終了しているものの割合 ★1歳6か月児健診で流行性耳下腺炎を1回接種終了しているものの割合	3歳児日本脳炎2回接種 : 45.1% 1歳6か月児B型肝炎3回接種 : 10.0% 1歳6か月児ロタ(1価)2回接種、ロタ(5価)3回接種を終了 : 7.9%、0.6% 1歳6か月児水痘を1回接種終了 : 28.5% 1歳6か月児流行性耳下腺炎終了 : 31.6% (H25年度)	増加	95.0%	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)

指標(★:重点指標)	策定時	中間年 (5年後)	最終年 目標	把握方法	
【参考とする指標】	育児中の父母の喫煙率	父親 乳児:40.5% 1歳6か月児:39.8% 3歳児:37.4% 母親 乳児:6.6% 1歳6か月児:7.0% 3歳児:7.8% (平成25年度)	—	—	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	育てにくさを感じたときに 対処できる親の割合	平成27年度から乳 児健診の問診追加 項目とし集計	—	—	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	子どもの社会性の発達 過程を知っている親の割 合	平成27年度から乳 児健診の問診追加 項目とし集計	—	—	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	乳児の貧血 血色11.0g/dl未満	10.0未満:3.2% 10.0~10.9:22.1% 計25.3% (平成25年度)	—	—	乳幼児健康診査報告書(沖縄県小児保健協会)
	この地域で子育てしたい と思う親の割合	全体:75.1% 乳児:76.2% 1歳6か月児:72.5% 3歳児:76.3% (平成26年度)	—	—	乳幼児健診(健やか親子なは)アンケート

## 基本目標3 地域に守られながら、子ども自らこころとからだの健康を考え行動できる力がつく

具体的目標①こどもがこころとからだに対して正しい知識を身につけることができる

具体的目標②10代の望まない妊娠を減らす

### ■現状と課題

こどもたちが性に関することを学校現場などで学ぶ機会は増えてきています。一方で、平成26年度調査（「健康なは21」）より、「避妊方法を知っている」と答えた中高校生の割合は56%と前回調査と比べ、大きな改善はみられませんでした。また、性非行の低年齢化が進んでいるとの声もあがっています。

さらに10代の人工妊娠中絶実施率は全国値よりも高く、10代の妊娠が多い現状をみると、引き続き、自分や他者を思いやる気持ちや、性や避妊に関してこどもたちが正しく理解ができるよう、関係課や関係機関と連携し、性に関する授業（性教育）の体系づくりなどに取り組む必要があります。また、10代の望まない妊娠への相談対応について産婦人科や関係機関との連携のもと、体制の強化が求められています。

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （1）市民に期待する自らの取り組み

- ①家庭での性教育は乳幼児期からスタートし、思春期まで性についてオープンな会話を積み重ねる（恥ずかしい・隠すなどのマイナスイメージを与えないようにする）
- ②思春期のこどもが相談できる友人、信頼できる大人をたくさんつくれるように、親は見守り、導く

#### （2）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
那覇地区養護教諭研究会	・性教育の推進 ・他機関との連携による情報の収集や提供
思春期保健相談士（助産師）	・10代の妊娠が増加傾向にあることから、中学生への妊娠、避妊（必要時）について学ぶ機会の創出（外部講師の活用） ・こども（中高生）の相談場所を設置 ・10代がライフプラン（妊娠、避妊、出産適正年齢など）について考える場づくり

機関・団体名	取り組み内容
市母子保健推進員協議会	・思春期教育を行い、妊娠・育児体験を通して生命の大切さをこどもたちに伝える
医療機関	・望まない妊娠対策の充実（依頼に応じた中学校等地域での性教育の講義の開催等）
沖縄県健康長寿課 （沖縄県女性健康支援センター）	・思春期にあって健康相談を希望する方への相談対応 ・妊娠、避妊についての的確な判断を行うことができるよう相談を希望する方や、その必要がある方への相談対応 ・性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談対応

### （3）那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	・関係機関と連携し、思春期に関する相談の充実（学校、医療機関、関係課等） ・思春期の心と体に関する相談先や提供できる情報の整理及び周知（相談先リーフレットの作成等） ・学校と連携した思春期教室の充実
健康増進課	・性感染症に関する相談・出前講話の実施
教育相談課	・電話相談や来所相談の実施 ・適応指導教室・自立支援教室の実施
人事課	・家庭における家族の団らんの時間や、親が家にいる時間を増やすため、ノ一残業デーを推進
学校教育課	・小学校より「心と体の健康」についての教育の実施 ・地域保健課、各関係機関との連携による性教育の充実



## 具体的目標③子どもがたばこやアルコール等の害から体を守る

### ■現状と課題

中高校生の喫煙や飲酒については、前回調査と比べ、減少がみられました。各課や関係機関による喫煙や受動喫煙、アルコールの害について講演会を開催するなど学習の機会は増えています。加えて店舗販売でも対面による販売が徹底されるなど、未成年者が容易に購入することができなくなっています。また保護者、地域、青少協等で夜間パトロールを実施するなど、環境整備を強化した成果もあり、中高生の喫煙・飲酒経験率が減少したものと考えられます。今後も関係機関との連携によるたばこやアルコールの害について学ぶ場づくりを支援するとともに、地域での声かけなどが求められています。たばこの依存で治療が必要になっている未成年者に対する相談支援体制の強化が求められるとともに、保護者や周りの大人に対するたばこやアルコールの害について、啓発普及を行う必要があります。また、薬物の害についても同様、啓発普及を行い乱用防止に努めるための働きかけが必要です。

平成 26 年度「健康な 21」調査より

・喫煙経験 (1 か月以内の喫煙)	中学 1 年：男子 0.0%、女子 0.4%／高校 3 年：男子 2.8%、女子 2.5%
・飲酒経験 (1 か月以内の飲酒)	中学 3 年：男子 1.7%、女子 4.3%／高校 3 年：男子 11.2%、女子 3.8%

### ■目標達成に向けた取り組み

#### (1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①喫煙・飲酒・薬物の害について、家庭でよく話し合う
- ②大人は、子どもにたばこやお酒の買い物をさせない
- ③親自身から禁煙に努める
- ④受動喫煙が子どもに与える影響を理解し、子どもの前でたばこを吸わない
- ⑤子どもにたばこやお酒を勧めない
- ⑥喫煙・飲酒をしている未成年者がいたら注意する

#### (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
市 PTA 連合会 市民生委員児童委員連合会	・夜間パトロール等の推進 ・喫煙、飲酒、薬物を未成年者に勧めない、認めない地域づくりの推進 ・小学校、中学校との連携充実と学校行事への参加 ・地域で児童・生徒を見守る団体間の連携充実

機関・団体名	取り組み内容
歯科医院	・学校保健の場での情報提供とたばこの害について啓発
南部地区歯科医師会	・デンタルフェアの実施

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	・たばこやアルコールの害などについて啓発活動の充実、保健ボランティアの活用 ・たばこやアルコール等の体に与える悪影響について、思春期教室の内容に導入
健康増進課	・県作成の「禁煙外来医療機関における妊婦及び未成年者への対応について」のリストを活用し個別相談時に情報を提供 ・「禁煙外来・禁煙治療を実施している医療機関、禁煙治療について」のチラシを作成し、各種保健事業で活用 ・高校生・専門学校生の受動喫煙の害、喫煙防止教育について、たばこ講演会等を実施
学校教育課	・たばこ、アルコール、薬物乱用防止に関する教育の充実

### 具体的目標④適正な体重を維持する（バランスの良い食事と運動の習慣化）

#### ■現状と課題

全国と比べて、沖縄県の肥満児の出現率が高くなっています。痩身傾向児の出現率は全国よりも低くなっていますが、近年、徐々に増えてきています。また、児童生徒の学年が上がるにつれて朝食欠食率が高くなっています。こどもの体づくりのために、バランスの良い食事内容となっているかなど、学校などで食育を推進しながら、食事の質について学ぶ機会を充実していく必要があります。同時に保護者へも食育に関する情報提供を行う必要があります。

・肥満傾向児の出現率 (H25年度 学校保健統計調査報告書)	小学校6年生 11歳 男子 沖縄 13.26%、全国 10.02% 女子 沖縄 8.91%、全国 8.69%	中学生3年生 14歳 男子 沖縄 10.50%、全国 8.27% 女子 沖縄 8.37%、全国 7.42%
・痩身傾向児の出現率 (H25年度 学校保健統計調査報告書)	小学校6年生 11歳 男子 沖縄 2.14%、全国 2.90% 女子 沖縄 2.43%、全国 2.74%	中学生3年生 14歳 男子 沖縄 1.03%、全国 1.57% 女子 沖縄 1.45%、全国 2.68%
・朝食を毎日食べているこどもの割合 (生活基本調査 H25年度 市教育委員会学校教育課)	小学校後期調査 86.8% (1年～6年生平均)	中学校前期調査 79.5% (1年～3年生平均)

## ■ 目標達成に向けた取り組み

### (1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①できるだけ家族そろって食事をする時間を増やす
- ②栄養バランスを意識して食事を作る
- ③お菓子や清涼飲料水をとりすぎない

### (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
学校栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休暇等における食育実践講座の実施</li> <li>・商業施設における「食とこどもの健康展」の実施により食に関する情報発信</li> <li>・市教育委員会が那覇市医師会に委託している生活習慣病検診における栄養指導</li> </ul>
市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の旬の食べ物、行事食について普及する機会の拡充（親子料理教室の活用、小・中学生対象）</li> </ul>

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期からの食育への取り組みを充実</li> </ul>
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族そろっての食事（共食）の推進について、保健事業を通して共食や孤食の際の栄養バランスへの配慮について普及・啓発</li> <li>・高校生・大学生等への食育教育等の実施（学校や食生活改善推進協議会との連携）</li> <li>・食品の栄養成分表示の見方について、お菓子や清涼飲料水のカロリーや糖分など、とりすぎに注意が必要な身近な食品から学ぶなど、関心が高まる内容の工夫</li> </ul>



具体的目標⑤こどものむし歯が減る

■現状と課題

那覇市の小学生のむし歯(う歯)率をみると、全国と比べて男女とも高くなっていることから、こどもの歯の健康について、保護者への働きかけが求められます。学校によって、歯みがき指導等の時間が取れないところもあり、教育委員会と連携した取り組みが求められるとともに、かかりつけ歯科医の普及啓発を進める必要があります。

むし歯(う歯)率 小学校	小学生(6歳~11歳)平均 男子 那覇市 68.94%、全国 55.89%/女子 那覇市 65.17%、全国 52.30%
-----------------	--

資料：H25年度 学校保健統計調査報告書

■目標達成に向けた取り組み

(1) 市民に期待する自らの取り組み

- ①かかりつけ歯科医を持つ
- ②乳幼児期から歯みがき、仕上げみがきの習慣をつける(仕上げみがきは小学校4年生まで)
- ③健診でむし歯を指摘されたらしっかり治療する

(2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
市PTA連合会	・学校やPTA活動におけるこどもの歯の健康について保護者の学ぶ機会の充実
歯科医院	・学校保健の場での情報提供とむし歯予防の啓発 ・食生活リズムとむし歯に関わる正しい知識の普及啓発
南部地区歯科医師会	・こどもの歯の健康について入学説明会での講話の実施 ・学校でのフッ化物洗口の推奨 ・学校で昼食後の歯磨きに取り組むことの働きかけ ・デンタルフェアの実施

(3) 那覇市の取り組み

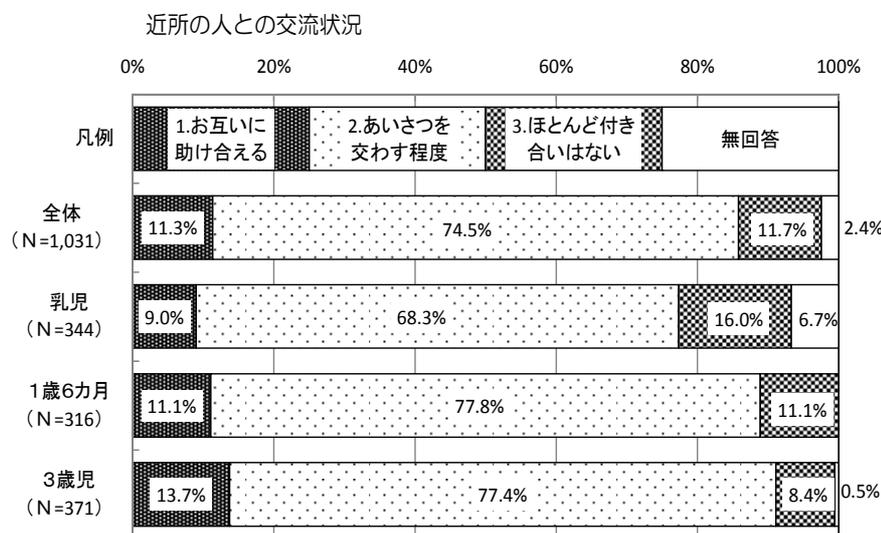
所管課名	取り組み内容
地域保健課	・かかりつけ歯科医を持つことについての普及啓発
学校教育課	・歯科健診の実施 ・歯科校医と連携した入学説明会の実施

## 具体的目標⑥こどもの健やかな成長を見守り育む環境づくり

### ■現状と課題

那覇市においては、地域のつながりの希薄化、自治会などの加入率の低下などにより、地域の子育て力も低下しています。

また、部活動・塾通い、携帯電話の普及、深夜営業店舗の増加、ソーシャルネットワークサービス（SNS）・ゲーム等の多種多様なメディアの出現、核家族化や共働き家庭の増加等、こどもを取り巻く環境の変化に伴い、こどもの不適切な生活が習慣化しています。そのような状況の中、こどもの健やかな成長を見守り、規則正しい生活習慣が確立するよう、地域や家庭、学校などが一体となった取り組みを行う必要があります。



資料：平成 26 年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （１）市民に期待する自らの取り組み

- ①親が心にゆとりを持ち、常にこどもに関心をもつようにして、こどもの行動の変化に早く気付くようにする
- ②思春期になったとき、周りの大人がこどもたちを見守り、声をかけてくれるよう、日頃から近隣・親戚との付き合いを大事にする
- ③学校や地域が開催する講演会・集会に積極的に参加する
- ④親は夜間、こどもだけにしないようにし、家族団らんの時間を増やす
- ⑤携帯電話の使い方（使用時間や携帯電話におけるトラブル等）について、親子でよく話し合う

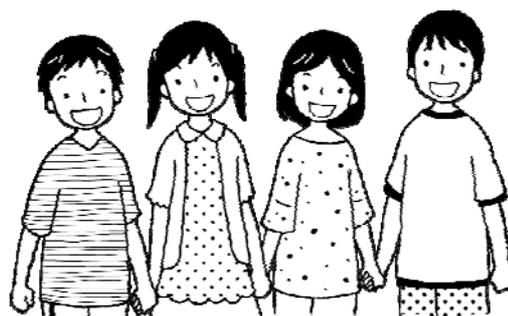
## (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
市PTA連合会 市民生委員児童委員連合会 思春期保健相談士(助産師)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶・声かけ運動や夜間パトロール等の推進</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物を未成年に勧めない、認めない地域づくりの推進、周知</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」、「子ども同伴での居酒屋などの利用は『夜9時までには帰りましょう運動』」や「家~なれ~」運動の普及活動</li> <li>・保護者が夜間に家を留守にしない取り組みの実施</li> <li>・自治会活動や地域活動の充実</li> <li>・民生委員・児童委員の地域活動の充実、家庭や地域での対話を充実させる活動の推進</li> <li>・早寝早起きの習慣が身につくよう、スマートフォンなどの使用時間の考え方等を提示(小中学生)</li> </ul>
学校栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するための啓発活動の実施</li> </ul>
市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館・児童館等、地域との連携による、地域活動の充実</li> </ul>
市健康づくり推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり活動を通して地域の繋がりを推進</li> </ul>
市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で正しい食生活の普及活動を推進</li> </ul>
市自治会長会連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時における横断歩道での指導、夜間パトロールを実施(毎月第3金曜日は夜間パトロール実施中)</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」や「子ども同伴での居酒屋などの利用は『夜9時までには帰りましょう運動』」の普及活動</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物を未成年に勧めない、認めない地域づくりの推進、周知</li> <li>・保護者が夜間に家を留守にしない取り組みの推進、周知を図り、自治会員への理解を促進</li> <li>・自治会活動や地域活動の充実</li> </ul>
県自閉症協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症などに関する相談(来所・電話)事業の実施</li> <li>・ホームページでの情報発信</li> <li>・保護者同士が交流し情報交換などができる場(ゆんたく会)の提供</li> <li>・会誌(あじさい通信)を発行するなど、自閉症の正しい認識の普及活動の推進</li> <li>・会員に対する、ソーシャルスキルトレーニングの実施(4歳~小3対象)</li> </ul>

## (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のこどもたちや親等に声かけし、相談相手になる活動を行う保健ボランティア(母子保健推進員・健康づくり推進員)の育成、養成</li> </ul>
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校や専門学校へ若い世代からはじめる生活習慣病予防対策事業を周知し、希望に沿った内容で講座を実施(但し、実施にあたっては関係機関との情報交換、連携が必要)</li> <li>・健康づくり関係の講師情報の整理及び情報提供</li> <li>・20~30代健診を通しての子育て世代の健康課題についての周知啓発</li> </ul>

所管課名	取り組み内容
まちづくり協働推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙・飲酒・薬物を未成年に勧めない、認めない地域づくりのために、挨拶、声かけ運動等の推進</li> </ul>
青少年育成課 教育相談課	<ul style="list-style-type: none"> <li>Go 家運動の推進</li> </ul>
教育相談課	<ul style="list-style-type: none"> <li>適応指導教室あけもどろ学級：心理的・情緒的不安が原因で登校できない児童生徒への居場所づくり、小集団での体験活動や学習支援等の推進・充実</li> <li>自立支援教室きら星学級：遊び・非行・問題行動等の児童生徒への個別対応による居場所づくり、体験活動、学習支援等の推進・充実</li> </ul>
こども政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの居場所づくり、啓発活動の推進</li> </ul>
青少年育成課	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室を充実させ、こどもたちの放課後の居場所づくりを推進</li> <li>青年団体連絡会（青年会）の活動において、定例会の開催、なは青年祭の開催、レクリエーションの実施</li> </ul>
市民スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市体育協会、スポーツ推進委員が連携し、各種スポーツ大会や地域スポーツ教室、体力テスト会などを開催することにより、青少年への運動のきっかけづくりを推進</li> <li>青少年の体力・運動能力の向上、トップレベルのスポーツを体感できる機会の拡充を図るため、学校教育部門や関係部局と連携し、外部からの指導者を「スポーツ専門指導員」として派遣</li> <li>スポーツ・レクリエーションを通じて青少年健全育成を推進している「スポーツ少年団」の事業を支援</li> </ul>



## 基本目標3の指標

	指標(★:重点指標)	策定時	中間年 (5年後)	最終年 目標	把握方法
【健康水準 の指標】	★10代の人工妊娠中絶率 女子15～19歳の人口千対	全国 6.6 沖縄 7.6 那覇 9.8 (平成25年度)	減少	減少	衛生行政報告例
	★10代の喫煙率(1か月以内 の喫煙)	中1男:0.0% 中1女:0.4% 高3男:2.8% 高3女:2.5% (平成26年度)	0.0%	0.0%	「健康なは21」アンケート
【健康行動 の指標】	10代の飲酒率(1か月以内の 喫煙)	中3男:1.7% 中3女:4.3% 高3男:11.2% 高3女:3.8% (平成26年度)	0.0%	0.0%	「健康なは21」アンケート
	避妊方法・性感染症について 学習したことがある	避妊方法 中3男:52.2% 中3女:52.5% 性感染症 中3男:82.2% 中3女:81.3% (平成26年度)	増加	増加	「健康なは21」アンケート
	12歳児一人平均う歯(むし 歯)経験数	1.84本 (平成25年度)	1.0未満	1.0未満	学校保健統計調査報告書
【参考とする 指標】	思春期に関する(親と子)教 育回数	15回 (平成25年度)	—	—	・母子保健相談訪問指導 事業 ・生涯を通じた女性の健 康支援事業 ・母子保健推進員活動
	近所の人との交流 「お互いに助け合える関係」 があると回答した割合	全体:11.3% 乳児:9.0% 1歳6か月児:11.1% 3歳児:13.7% (平成26年度)	—	—	乳幼児健診(健やか親子 なは)アンケート

## 基本目標4 親が心にゆとりを持ち子育てできる

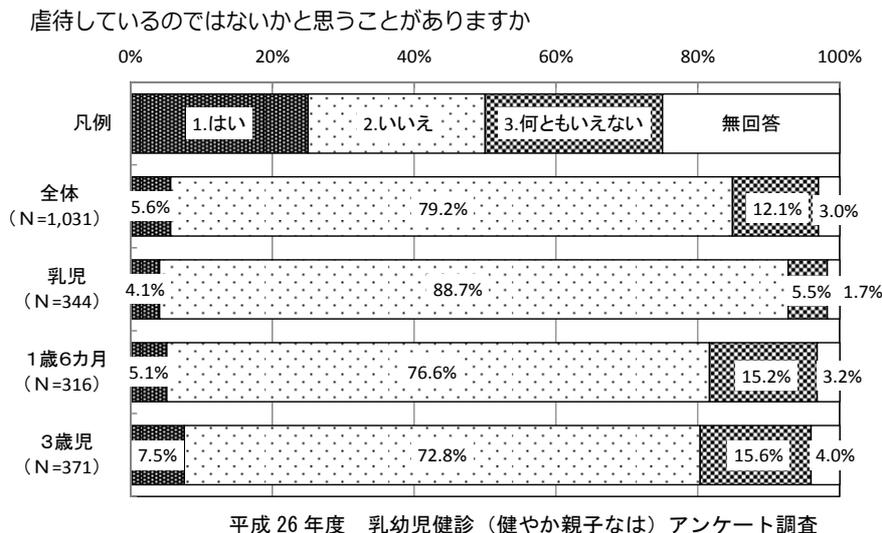
具体的目標①こどもを虐待していると思う親が少なくなる（割合が減少する）

### ■現状と課題

平成26年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査では「虐待をしているのではないかなと思う」と答えた方が5.6%みられました。また、虐待をしているか「何ともいえない」とする回答もみられ、「虐待とは何か」正しい知識が十分ではない様子もうかがえます。

那覇市における児童虐待に関する相談件数（市子育て支援室資料）も増加しており、乳幼児健診では「子育てが辛い」と感じている方も見られます。

また、「子育てのサポートをしてくれる方がいない」が9.2%（乳幼児健診前期：平成25年度）となっており、育児不安等をもつ親を孤立させないような地域の見守り体制や虐待の防止、早期発見、関係課と連携した支援体制等の検討が必要です。



### ■目標達成に向けた取り組み

#### （1）市民に期待する自らの取り組み

- ①子育てに関する情報を得て、こどもの発達について学ぶ
- ②妊娠前や妊娠中に、子育てのイメージが持てるように学ぶ
- ③妊娠・出産・育児に関する事で相談できる相談機関の情報収集を行い、困ったことがあったら相談する
- ④夫や家族は、子育てについて日ごろからよく話しあい、積極的に育児に協力する

## (2) 市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	・産婦の育児力、愛着形成等の確認による育児支援の充実
歯科医院	・学校保健の場での情報提供（教員等に対して、こどものむし歯が放置されている場合、ネグレクトの可能性があるため注意を促す内容）

## (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<p>&lt;子育てに関する知識・技術の普及&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①妊娠・出産・育児に対する知識啓発と指導・助言の充実</li> <li>②こどもとの適切な関わり方、遊び方等に関する指導・教育の機会の充実</li> </ul> <p>&lt;不適切な関わりについての周知&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①虐待の基本的な知識の普及（しつけとの違い、揺さぶられ症候群等）</li> <li>②育児不安や困難さの相談、虐待の相談が気軽にできるように相談機関の周知の工夫</li> </ul> <p>&lt;育児相談とその支援の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①保健事業で把握した育児不安などに対する支援の充実</li> <li>②家族や夫への育児協力についての周知の工夫</li> <li>③育児相談、虐待関連相談の相談対応数の把握</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所（園）で受け入れている『子育て応援Day』の活用</li> <li>・中高生の保育体験の実施</li> <li>・地域子育て支援センターやつどいの広場、公民館（育児講座等）・児童館等の乳幼児学級の利用促進</li> <li>・地域に出向いて行なっている子育て支援センターの出前支援の充実</li> </ul>
子育て応援課（子育て支援室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは赤ちゃん事業で厚生労働省発行「赤ちゃんが泣き止まない」のパンフレット等を活用した周知</li> </ul>



具体的目標②よりよい妊娠・出産・育児ができるように、状況に応じて相談することができる

## ■ 現状と課題

妊娠届出が特に20週以降の妊婦の中で「産むか迷った」等、妊娠を継続するか悩む妊婦等が相談しやすい環境づくりが必要です。出産後の育児についても、関係機関や児童虐待部門と連携して（特定妊婦として）支援する、切れ目のない支援体制の強化が求められます。

また、女性が自身のライフステージにあわせて、妊娠や出産について相談できる場、知識を得る機会などの情報提供に努める必要があります。

さらに、産後うつ病、育児ストレス等の問題によって、子育てに対し不安や孤立感等を抱える保護者や、様々な原因で養育が困難になっている家庭を早期に発見し、適切な支援につなぐことができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。

## ■ 目標達成に向けた取り組み

### （1）市民に期待する自らの取り組み

- ①育児のための環境整備を早めに行い、困ったことがある場合は、関係機関に相談し、諸制度の活用を行う
- ②産婦やその家族は、産後の体調について理解し、体調の変化に留意する
- ③乳幼児健診を受け、健診会場で必要な相談をする
- ④かかりつけ医を持ち、予防接種を受ける際には、体調や育児の相談をする

### （2）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	・望まない妊娠対策の充実（夫も交えた個別指導の開催、依頼に応じ中学等地域における性教育の講義の開催等）
沖縄県健康長寿課 （沖縄県女性健康支援センター）	・妊娠、避妊についての的確な判断を行うことができるよう相談を希望する方や、その必要がある方への相談対応 ・不妊や妊娠に関する正しい知識の普及啓発 ・女性の健康に関する学習会の開催 ・身体的精神的な悩みを有する女性に対する相談対応
歯科医院	・妊婦の歯科健診時におけるさまざまな相談への対応、指導
南部地区歯科医師会	・妊婦の歯科健診に対する会員への指導教育 ・デンタルフェアの実施

(3) 那覇市の取り組み

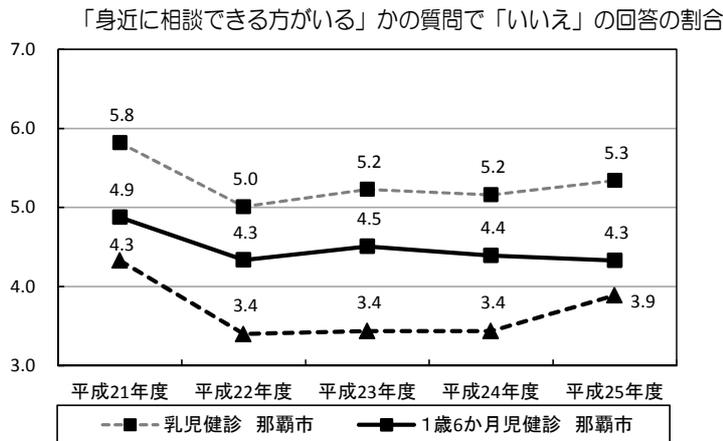
所管課名	取り組み内容
地域保健課	<p>&lt;母子保健事業・活動における妊娠期からの虐待リスクの早期の把握&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①親子健康手帳交付時の面接相談、妊婦健診等妊娠期の母子保健事業の中で、特定妊婦の早期把握を行うための面接・相談を充実</li> <li>②特定妊婦の把握や虐待予防のために、医療機関や育児支援機関との連携の充実</li> <li>③子育て支援の充実、養育環境の整備に向けてサービスの充実を図るために、関係機関・関係課との情報共有と連携の充実（経済不安、ひとり親家庭へのサービス、障がい者が育児をする等に対して）</li> </ul> <p>&lt;親の養育状況に合わせた支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①親子健康手帳交付時や妊婦健診の結果等による、妊娠期からの特定妊婦の把握と早期支援体制の整備</li> <li>②産後のメンタルヘルスにおける要支援者の早期把握と支援の充実</li> <li>③予期せぬ妊娠、望まない妊娠、産むか迷う方への相談対応の充実</li> <li>④医療機関（産婦人科等）との連携による妊娠期からの支援</li> <li>⑤乳幼児健診の未受診者に対する支援の充実</li> <li>⑥予防接種未接種者に対する連携強化による支援の充実</li> </ul> <p>&lt;こどもの特徴に合わせた育児対応についての支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①育児不安や育児困難さ、育てづらさを感じる親に対する支援の充実</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターでの『妊婦さんいらっしゃい』（プレママ）の周知</li> <li>・子育て支援センターの周知のため、市役所本庁での出前支援の定着</li> </ul>
子育て応援課 (子育て支援室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期からでも利用できる、育児支援家庭訪問事業の普及啓発</li> </ul>
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種の未接種児に関して、関係課との情報共有</li> </ul>
平和交流・男女 参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話による子育てや虐待についての相談対応の実施</li> </ul>

## 具体目標③地域や社会で育児を見守ることができる

### ■現状と課題

核家族の増加や、地域のつながりの希薄化などにより、子育てなどに関して、近隣からの助言や支援を受けることが困難となっています。

これまでの調査などから、「相談できる人がいない」、「子育てをサポートしてくれる人がいない」保護者が見られることから、母子保健推進員や民生委員・児童委員などの地域活動と連携を取りながら、支援が必要な家庭の把握や、見守り体制の強化を行う必要があります。



「近所の人との付き合い」がほとんどない：全体 11.0%、乳児 16.0%、1歳6カ月 11.1%、3歳児 8.4%  
 資料：平成26年度 乳幼児健診（健やか親子なは）アンケート調査  
 子育てのサポートをしてくれる方がいない：乳児健診 9.2%（H25年度） 資料：乳幼児健康診査報告書

### ■目標達成に向けた取り組み

#### （1）市民に期待する自らの取り組み

- ①日ごろから、地域住民や近所の方とは、あいさつを交わす等、付き合いを心がける
- ②地域の保健ボランティアさんと、顔なじみになる
- ③育児の協力者がいない場合は、諸制度を活用する等工夫する
- ④地域の子育て支援センターや児童館等を利用し、育児等の情報交換と交流を行う

#### （2）市民を支える関係機関、関係団体等の取り組み

機関・団体名	取り組み内容
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の状況に応じた育児支援環境の整備</li> <li>・必要に応じたカンファレンスや要保護児童対策会議の開催依頼</li> <li>・母乳外来等を活用した母親同士の仲間づくりの支援</li> </ul>

機関・団体名	取り組み内容
那覇市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン事業者や業務で地域を回る企業・団体に構成されている「那覇市見守りチャームピラ隊」と連携して、地域の自治会単位で地域の高齢者や障がいのある方などの見守り活動を行っている「那覇市地域見守り隊」については、今後、児童虐待防止に向けた取り組みを検討</li> </ul>
市自治会長会連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々への日常的な声かけ</li> <li>・自治会事務所等での相談しやすい雰囲気づくり</li> </ul>
市民生委員児童委員連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の親子に声をかけ合い、育児に関する相談対応の実施</li> <li>・関係機関との連携のもと、こどもへの関わりで気になる保護者に対して、相談先を紹介</li> </ul>
市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の中で、子育て中の母親の話し相手になり、妊娠・出産・育児に関する相談対応と、相談できる場所や那覇市の母子保健に関する情報の提供</li> <li>・子育て中の親に声をかけ、仲間づくりができる子育て支援センターや子育てサークルについての紹介</li> </ul>

### (3) 那覇市の取り組み

所管課名	取り組み内容
地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健ボランティア（母子保健推進員、健康づくり推進員等）の養成・育成を充実させ、虐待予防としてできる活動の推進</li> <li>・関係課・関係機関との連携の充実</li> <li>・虐待主管課との情報交換・連携会議の開催</li> </ul>
こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育所（園）や子育て支援センターの利用促進</li> </ul>
子育て応援課（子育て支援室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診未受診者等で気になるこどもの情報があった際の情報収集及び対応</li> <li>・児童虐待防止推進月間での児童虐待防止意識の普及啓発</li> </ul>

## 基本目標 4 の指標

指標(★:重点指標)		策定時	中間年 (5年後)	最終年 目標	把握方法
【健康水準の指標】	★子どもを虐待していると思う親の割合	全体::5.6% 乳児:4.1% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:7.5% (平成 26 年度)	減少	減少	乳幼児健診(健やか親子な は)アンケート
【健康行動の指標】	ゆさぶられ症候群を知っている親の割合	乳児:85.8% (平成 26 年度)	増加	増加	乳幼児健診(健やか親子な は)アンケート
【環境整備の指標】	子育てをサポートしてくれる人がいない親の割合	9.2% (平成 25 年度乳健前期)	減少	減少	乳幼児健康診査報告書 (沖縄県小児保健協会)
【参考とする指標】	子育て支援室の児童虐待相談件数	平成 25 年度:235 件 平成 24 年度:171 件 平成 23 年度:128 件	—	—	子育て応援課 子育て支援 室(家庭児童相談実施状 況)
	こんにちは赤ちゃん訪問の件数と率 乳児家庭全戸訪問事業	2,963 件 事業実施率:85.1% (平成 25 年度)	—	—	子育て応援課

